

事業所名

I COPAキッズ西落合

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

7 月

12 日

法人（事業所）理念		「お子さんが安心して過ごせる場であること」、「ご家族が安心してお子さんを預けられる場であること」、「遊び、学び、気づきの場であること」の3つを基礎に置き、お子さんのニーズを引き出し、ご家族の意向を踏まえ、より良い支援が実践できる事業所を目指しています。								
支援方針		1歳～6歳までの未就学の児童を朝から夕方までお預かりし、その年齢、特性に応じた保育、療育、入浴サービスを提供し、児童の心身の発達を促します。								
営業時間		9 時	30 分	から	16 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身の把握（1日3回の体温、SpO2、心拍測定） 生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） 本人の小さなサインや異変に気付けるよう細心の注意をはらい安楽に過ごせるようケアを行なう 楽しく食事ができるよう、口腔内機能や感覚等に配慮しながら、咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う 生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるような環境を整る。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日中の活動の中で身体のマッサージやストレッチングを適宜行う 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援を行う 健康状態や活動内容に即した「楽」な姿勢を取り、楽に、意欲的に過ごせるように支援を行う 姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会において、天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成につなげる支援を行う 1日の活動を示す絵カードの確認による時間の認知形成につなげる 粘土、スライム等感覚遊びによる物質の変化と感覚の発達を促す支援を行う 季節の変化への興味などの感性形成のための外出や行動の支援をおこなう 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉や各種の文字、記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する 意思表出の方法を観察し、どのような手段での意思表出があるか、また、反応が乏しい時はどのような場面なのかを観察、記録。それと共に本人が「伝わった」という気持ちを繰り返し体験することにより、意思表出の回数が増えるように支援を行う 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメント形成（面談で自尊心を高める・認める） 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する 								
家族支援		行事等への兄弟児の参加 母子分離で預かり時間を長くし、保護者の就労支援			移行支援		近隣の障害者通所施設との交流や、障害者支援施設の利用での交流 養護学校見学をし情報の共有			
地域支援・地域連携		近隣障害者施設、子ども園との交流 地域行事への参加予定			職員の質の向上		事業所内研修の実施。外部研修の受講 自己研鑽の為にキャリアアップ制度あり			
主な行事等		外出ランチ、子どもの日、父の日、母の日、水遊び、七夕まつり、夏祭り、調理実習、お買い物、敬老の日、ハロウィンパーティー、お月見、消防署見学、クリスマス会、お正月遊び、節分、ひな祭り、卒園児外食体験、卒園遠足、卒園式								